

# 自然と生き物の色々な話

## 〇〇の仲間?～生き物と生き物の仕分け方～

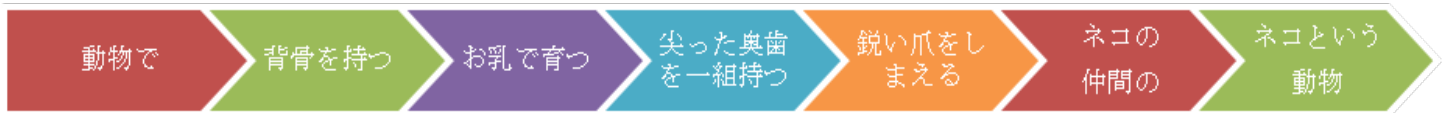
皆さんこんにちは、私は環境省竹野自然保護官事務所でアクティブレンジャーとして働いている酒井といいます。これから皆さんに自然や生き物について、楽しく伝えていきたいと思ひます。

動物園や植物園の説明で、「この生き物は〇〇の仲間だよ」とか、これは「〇〇に近い生き物ですよ」という説明を聞いたことはありませんか? 今回はそんな「〇〇に近い」、「〇〇の仲間」とは、どんな意味なのかを考えてみましょう。「〇〇の仲間」という言葉を理解するには、その生き物がどんな生き物なのかを知る必要があります。さて、イヌをおおざっぱに説明すると、このようになります。



「生き物の特徴」でイヌを説明しているのがわかりますね。これを生物学の言葉を使って言うと「動物界脊索動物門哺乳綱食肉目イヌ科イヌ属タイリクオオカミの亜種のイエイヌ」となります。この言葉は難しいので分からなくても大丈夫です。

ネコならこのように。



正しくは「動物界脊索動物門哺乳綱食肉目ネコ科ネコ属ヤマネコの亜種のイエネコ」という呼び方になります。説明をみると、左の方が大まかで、右に行くほど細かく分けられているのがわかります。

生き物を大きな特徴から細かい特徴のほうへグループを作ってまとめていくことを「生物分類」と言ひます。今回はおおざっぱに分けましたが、本当は動物の姿形(うろこの数や骨の造りなど)やDNAをもっと細かく調べてグループ分けをすることができます。



こうした「生物分類」のなかで、グループが同じ生き物同士を「仲間」と呼ぶことがあります。例えばトラは「動物で」「背骨のある」「お乳で育つ」「尖った奥歯を一組持つ」「鋭い爪をしまえる」「ヒョウの仲間の」「トラという動物」となります。

ネコと同じ「鋭い爪をしまえる」グループのトラはネコの仲間になりますし、姿も似ています。仲間の生き物同士は姿形がよく似ていることがほとんどです。

反対に、見た目では仲間のように見えても、仲間ではなかったり、仲間ではないように見えても仲間だったりする事もあります。例えば、昆虫のハチとアリは一見似ていませんが同じハチの仲間であり、アリとシロアリはよく似ていますがシロアリはアリではなく、ゴキブリの仲間です。また、イカやタコは魚よりもアサリやシジミといった貝に近い生き物ですし、ウマとシカはパッと見るとよく似ていますが、実はウマはサイに近く、シカはウシに近い生き物であったりします。

皆さんも、その生き物が何の仲間か考えながら生き物観察をしてみてください。面白い発見があるかもしれませんよ。